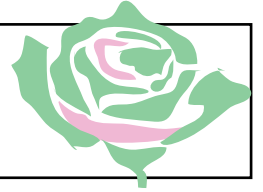


社会福祉法人グリーンローズ

「ことば」の教室
オリブ園
インクル

新しい園舎 施設長交代



新園舎が完成致しました。
昨年度1年間、子どもたち、保護者の皆様にご迷惑をおかけ致しました。
保育園・幼稚園の方々にもご迷惑をおかけいたしました。
おかげさまで、無事新園舎が完成致しました。これから、子どもたち、ご家族の方々と一緒に元気に成長できるように支援していくつもりであります。また、地域支援についてもこれまで以上に行っていきたいと考えております。どうぞ、新しい園舎を見学していただければとおもっております。

旧園舎から引き継いだ碑があります。創設者である片桐格先生が、アメリカでこの仕事(子どもたちへの「ことば」の支援)の示唆を受けたパーマー博士への思いの碑です。

**For the memory of
Martin F. Palmer Ph.D
1975.12 Psalm 90:17**

共に

「共に」は社会福祉法人グリーンローズの理念です。
「障害」あるなしにかかわらず、この世界を「共に」作っていくことはあまりにあたりまえのことです。しかし未だ道なかばです。新しい世代とこれから生まれ来る子どもたちが、貧困や「障害」、人種や出自、性によって差別されることのない世界をめざすことができるように、という願いの碑です。

木造公共施設等整備事業の皆様
木の香りの建物、ありがとうございました。
子どもたちは、自然の香りとその生命を感じ
元気に成長していきます。



パーマー博士



創設者 片桐格先生



この建物は木造公共施設等整備事業の補助金を受けております。

裏面もありますよ!

何かありましたら誰にでも連絡・相談

施設長・管理者 交代

昭和50年(1975年)に、全国最初の認可された二つの難聴幼児通園施設のひとつとして、オリブ園が開設されました。その時は創設者の片桐格先生が施設長として就任し、亡くなる平成9年9月(1997年)まで施設長でありました。その後片桐勝也先生が就任され、それを引き継いで平成13年4月(2001年)から後藤進が施設長を引き受けてまいりました。新園舎開設までの15年間の長さで施設長を務めさせてもらいました。若い人がまだ若いうちにと考え、施設長を交代することになりました。放課後等ディサービスは新しい制度で、平成24年(2012年)から放課後等ディサービス・インクルとして開設しました。放課後等ディサービス・インクルは片桐勝也先生に管理者をお願いしておりました。平成28年に、放課後等ディサービス・インクル2も開設しました。この機会に、放課後等ディサービス・インクルもまた管理者交代をお願いしました。新しい施設長・管理者に対し今後ともよろしくお願ひ致します。

子ども発達支援センター・オリブ園
放課後等ディサービス・インクル

前施設長 後藤 進
前管理者 片桐 勝也

⇒ 現施設長 佐々木 明美
⇒ 現管理者 石田 雅士

となります

ごあいさつ

子ども発達支援センター・オリブ園 施設長 佐々木明美

私がグリーンローズに就職したのは、当時は思いも及びませんでした。今、振り返れば昭和が終わりを告げようとしていた頃でした。つい昨日の事のようにありながら、出会ってきた周りの子どもたちを見ると確実に年月が経った事を感じます。

私は、秋田で生まれ育ったのですが、秋田にいる頃は「オリブ園」を全く知りませんでした。大学を出て、埼玉県所沢市にある国立身体障害者リハビリテーション学院聴能言語専門職員養成課程で一年勉強した時や縁あってここに就職してから「オリブ園」が全国に知られている施設だという事がわかり驚くとともに身が引き締まる思いだったことを覚えています。

勤め始めた頃、お子さんのおかあさんはほとんどの方が年上でした。当時からこぼと組はあり、そこで出会ったおかあさんは元気な方が多く、皆さんいろいろな思いを持っているはずなのに、相談されても話を聞くことしか出来ない私をり立てて下さいました。おかあさんの心配の相談は先輩の先生方にお任せし、私はとにかくこぼと組にすれば楽しい、居心地が良いと思って過ごしてもらおうにと思っていました。1年間のこぼと組が終わる日に、あるおかあさんに感想を求められて、それまでおかあさん方の前ではせめて絶対泣かないようにしよう決めていたのに、急に涙が溢れて止まらなくなってしまいました。今思ってもことばで説明できない感情でした。その後も様々な方々との出会いがあり教えられ、どんな思いでオリブ園に通われているのか、経験の無い狭い知識の上の想像でしか無かった頃よりは、広く考えられるようになってきたと思います。

お子さんの幸せについて考えるとき、一般的に言われる障害の軽重や他人の見た目の判断では量れないと気づかされました。どのお子さんも家族の中で受け入れられて育っているかどうか、とても重要だと思っています。ただ、家族の方がお子さんを受け入れて育てるということは、簡単ではないことも実感しています。

お子さんが元気に育つように、ご家族の方がありのままのお子さんを受け入れられるように、より心配や悩みが少なくなるように、元気に子育てしていけるようにお手伝いしていきたいと思っています。

そして、これまでの理念を引き継ぎ、共に育ち合える社会の実現のために努力していきます。

ごあいさつ

放課後等ディサービス・インクル
インクル2 管理者 石田 雅士

支援を必要とする子どもたちとかかわって約35年。幼稚園のクラス担任から始まり、預り保育のサポート、そしてオリブ園でのグループ・個別支援を通して多くの親子と出会い、子どもたちの成長・発達を見ることができました。

自分の小学校時代をふりかえると、昭和30年～40年代は、支援を必要とする子どもたちをあまり意識せずに毎日暗くなるまで一緒に遊べた時代でした。

そういう体験があったからこそ、子どもと遊ぶ感性が自然に身につき、今の自分がいるんだと思います。

これからは現役続行で4月にオープンした放課後等ディサービス・インクル2の新境地で、子どもたちの「心の成長」をスタッフ一同しっかり受けとめ支援し、「子どもと関わって遊ぶ楽しさ」を、これからも感じ、味わい続けたいとおもいます。



何かありましたら誰にでも連絡・相談

E-mail olive@kodomo-sekai.com

ホームページ <http://www.kodomo-sekai.jp>

☎ 018-828-7750

☎放課後等ディサービス・インクル2 018-827-7411